

## 第 章 調査の結果 3 図書館

### 1 調査の対象と回答数

#### < 図書館（問 1 ） >

県内 18 市町の公立図書館 34 館（新居浜市立図書館角野分館、西予市立図書館野村分館、同三瓶分館を含む）に調査票を送付し、すべての館より回答を得た。

### 2 児童室（コーナー）の施設・設備の状況

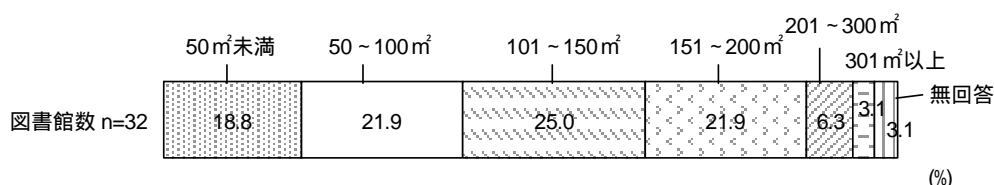
#### < 児童室（コーナー）設置の有無（問 2 - 1 ） >

児童室（コーナー）を設置している館は、34 館のうち 32 館（94.1%）である。

#### < 児童室（コーナー）の面積（問 2 - 2 ） >

児童室（コーナー）を設置している館に、その面積を質問した。全体では、101～150 m<sup>2</sup>が多く 25.0%（8 館）、次いで 50～100 m<sup>2</sup>と 151～200 m<sup>2</sup>が、それぞれ 21.9%（7 館）となっている。最も面積が大きいのは 346.27 m<sup>2</sup>であった。

図表 3 - 3 - 1



#### < 児童室（コーナー）の位置（問 2 - 3 ） >

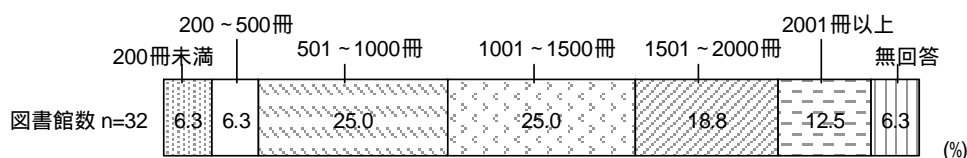
児童室（コーナー）は、図書館の中で子どもが利用しやすい位置にあるかを質問したところ、84.4%（27 館）が「はい」と答えている。

#### < 年間受入冊数の状況（問 2 - 4 ） >

平成 17 年度、新規に受け入れた児童図書の冊数を、購入・寄贈別に質問した。

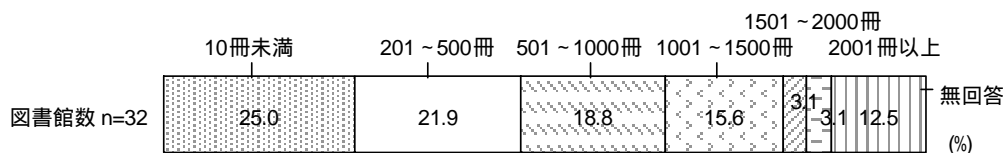
購入は、501～1,000 冊及び 1,001～1,500 冊受け入れた館が最も多く、それぞれ 25.0%（8 館）となっている。2,001 冊以上受け入れている館が 12.5%（4 館）あった。

図表 3 - 3 - 2



寄贈は、500冊未満が46.9%(15館)で半数近いが、1,501冊以上の寄贈を受けているのが2館(6.2%)ある。

図表 3 - 3 - 3



< ヤングアダルトコーナーの有無 (問 2 - 5 ) >

館内に、ヤングアダルトコーナーを設置しているのは、43.8%(14館)である。

また、ヤングアダルトコーナーの冊数を質問したところ、平均1,424冊で、2,000冊以上が4館あり、最も多い館は8,583冊となっている。(平成18年4月1日現在)

< 児童室(コーナー)を設置していない図書館における児童図書の所蔵状況(問 2 - 6 (1)) >

問 2 - 1 で、「児童室(コーナー)はない」と回答した2館に、児童図書を所蔵しているかを質問したところ、2館とも所蔵していると回答している。

< 児童室(コーナー)を設置していない館における年間受入冊数の状況(問 2 - 6 (2)) >

平成17年度、1館では、購入約600冊及び寄贈約20冊、他の1館は購入約200冊及び寄贈約40冊を受け入れている。

< 児童室(コーナー)を設置していない館の児童図書の配架(問 2 - 6 (3)) >

2館とも、一般図書と区別し、児童図書のみ配架していると答えている。

3 児童室(コーナー)の運営と利用の状況

< 児童室(コーナー)の開室状況(問 3 - 1) >

児童室(コーナー)の開室時間を、平日、土・日・祝日別に調査した。

図表 3 - 3 - 4

平日

9:00~17:30	1(3.1%)	9:30~18:00	9(28.1%)	10:00~18:00	6(18.8%)
9:00~18:00	3(9.4%)	9:30~19:00	5(15.6%)	10:00~19:00	1(3.1%)
9:00~18:30	3(9.4%)	9:30~20:00	2(6.3%)		
9:00~19:00	1(3.1%)	9:40~17:00	1(3.1%)		

土・日・祝日

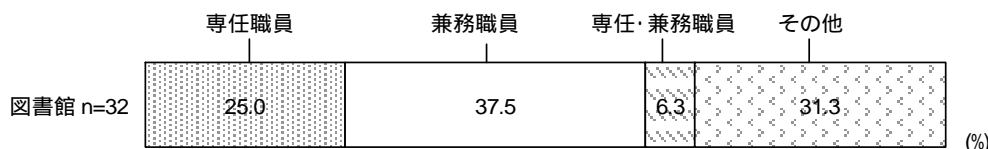
9:00～17:00	7(21.9%)	9:30～17:00	2(6.3%)	10:00～18:00	5(15.6%)
9:00～17:30	1(3.1%)	9:30～18:00	7(21.9%)	10:00～19:00	1(3.1%)
9:00～19:00	1(3.1%)	9:30～19:00	5(15.6%)		
		9:30～20:00	2(6.3%)		
		9:40～17:00	1(3.1%)		

\* 祝日休館 2 館 \* 土・日・祝日で開館時間が異なる館 3 館は長い時間で集計

< 児童室（コーナー）運営担当者の状況（問 3 - 2） >

児童室（コーナー）を設置する 32 館に、運営はだれが担当しているかを質問したところ、25.0%（8 館）が専任職員、37.5%（12 館）が兼務職員、6.3%（2 館）が専任及び兼務職員、その他が 31.3（10 館）と答えた。その他の内容は、「特定の職員は置かず職員全体で運営する」である。

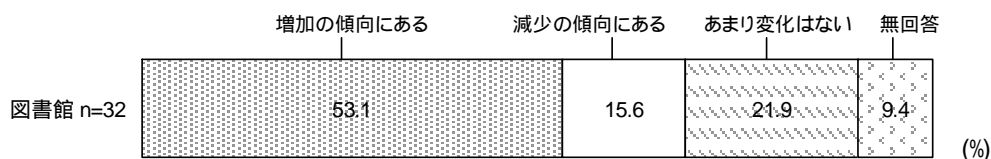
図表 3 - 3 - 5



< 貸出冊数の変化（問 3 - 3） >

各図書館における児童図書の利用状況をみるため、過去 5 年間ににおける貸出冊数の変化について質問したところ、「増加の傾向にある」と答えたのは 53.1%（17 館）で、これら対し「減少の傾向にある」のは 15.6%（5 館）で、「あまり変化はない」は 21.9%（7 館）であった。

図表 3 - 3 - 6

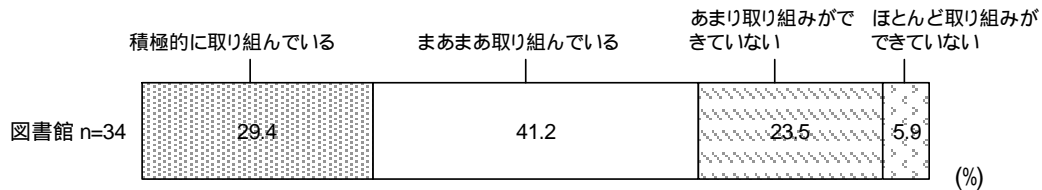


## 4 子どもの読書活動推進の状況

### < 読書活動推進の取り組み（問4 - 1） >

各図書館における読書活動推進の取り組みの状況について質問したところ、「積極的に取り組んでいる」「まあまあ取り組んでいる」を合わせると70.6%（24館）で、「あまり取り組みができていない」は23.5%（8館）、「ほとんど取り組みができていない」は5.9%（2館）であった。

図表3 - 3 - 7



### < 読書活動推進の取り組みの内容（問4 - 2） >

平成17年度・18年度における、読書活動推進の具体的な内容を調査した。

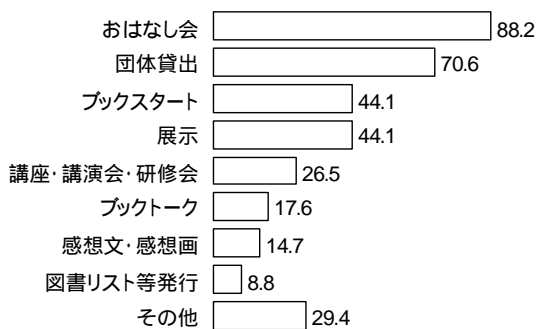
「おはなし会」は、17年度・18年度とも88.2%（30館）が実施しており、その内容は年齢対象別に実施、図書館外での実施等、1館で数種のおはなし会を実施しているところがある。

「ブックスタート」は、17年度44.1%（15館）、18年度52.9%（18館）が実施している。

「講座・講演会・研修会」は、17年度26.5%（9館）、18年度32.4%（11館）が、子ども向けの教室・講座のほか、読み聞かせ研修等を実施している。

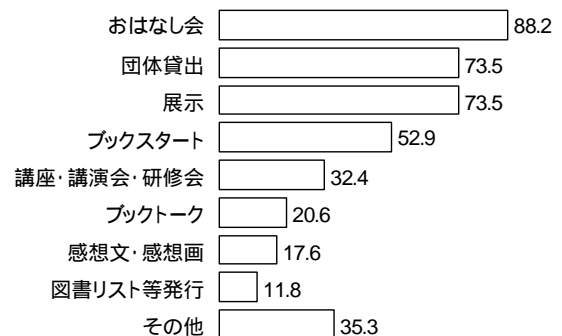
図表3 - 3 - 8

平成17年度



図表3 - 3 - 9

平成18年度



### < 取り組みのできない理由（問4 - 3）\*複数回答 >

問4 - 1で、「あまり取り組みができていない」と回答した8館、「ほとんど取り組みができていない」と回答した2館に、その理由を質問した。

- ・ 対応する職員がいない、または不足している（7館）
- ・ 事業予算がない（5館）
- ・ 児童図書が少ないため実施が困難（2館）
- ・ 施設が不十分で活動できない（1館）
- ・ 方法と時間的なことでまだまだ工夫が必要（1館）

## 5 他団体・施設等との連携や協力の状況

### < 連携・協力の実施状況（問5 - 1） >

子どもの読書活動推進のための行事や活動において、他団体・施設等と連携・協力をしているかについて調査した。

「積極的に実施している」「少し実施している」のは、91.2%（31館）である。

図表3 - 3 - 1 0



### < 連携・協力の実施内容（問5 - 2） \* 複数回答 >

問5 - 1で、「積極的に実施している」「少し実施している」と答えた31館に、その具体的な内容と連携・協力の相手先を答えてもらった。

図表3 - 3 - 1 1

実施内容	年度別実施館数	連携・協力先（数） * 複数回答
おはなし会	17年度 n=30	ボランティア(30)
	18年度 n=30	ボランティア(30)
団体貸出	17年度 n=24	学校(24) 保育所・幼稚園(2)
	18年度 n=25	学校(24) 保育所・幼稚園(2)
ブックスタート	17年度 n=15	その他の団体・施設等(15) ボランティア(8)
	18年度 n=18	その他の団体・施設等(18) ボランティア(10)
講座・講演会・研修会	17年度 n=8	ボランティア(4) 学校(2) 他の公立図書館(2) その他の団体・施設等(1)
	18年度 n=10	ボランティア(5) 学校(4) 他の公立図書館(1) 公民館(1) その他の団体・施設等(1)
展示	17年度 n=7	ボランティア(3) その他の団体・施設等(3) 学校(1) 他の公立図書館(1)
	18年度 n=9	その他の団体・施設等(4) ボランティア(3) 他の公立図書館(1)
ブックトーク	17年度 n=6	学校(6) 他の公立図書館(5)
	18年度 n=7	学校(7) 他の公立図書館(5)
感想文・画	17年度 n=4	学校(3) 他の公立図書館(1) ボランティア(1)
	18年度 n=5	学校(3) 他の公立図書館(2) ボランティア(1)
図書リスト等発行	17年度 n=1	ボランティア(1)
	18年度 n=1	ボランティア(1)
その他	17年度 n=7	学校(6) 保育所・幼稚園(2) その他の団体・施設等(1) 職場体験(3)、多読者賞(2)、読書記録・読書マラソン、テレビでの新刊紹介(各1)
	18年度 n=9	学校(5) 保育所・幼稚園(2) その他の団体・施設等(2) ボランティア(1) 職場体験(3)、多読者賞(2)、読書記録・読書マラソン、テレビでの新刊紹介、学校調査、読書フェスティバル(各1)

<実施していない理由（問5 - 3）\*複数回答>

問5 - 1で、「実施していない」と回答した3館に、その理由を質問した。

- ・ 対応する職員がない、または不足している（2館）
- ・ 連携・協力するための方法がわからない（2館）
- ・ 事業予算がない（1館）

<連携・協力の必要性（問5 - 4（1））>

今後の子どもの読書活動推進のための行事や活動において、連携・協力は必要と考えているかと質問したところ、34館のうち31館（91.2%）が「必要である」と答えた。  
（無回答3館）

<連携・協力の相手先（問5 - 4（2））\*3つ選択>

問5 - 4（1）で「必要である」と答えた図書館は、今後の連携・協力にあたり、その相手先はどこが有効と考えているか、有効性の高い順に1位から3位を選んでもらった。

1位から3位で最も多く選択されたのは、「小学校」で、87.1%（27館）、次いで「ボランティア」67.7%（21館）、「保育所（園）・幼稚園」58.1%（18館）と続いている。

図表3 - 3 - 1 2

